



ホープスガールズ



飯坂八幡神社祭り太鼓保存会



外内手踊り保存会



村中学校1年生による
田植え踊り



多くの村民が来場し、文化祭を楽しみました

までのいの心をつなげよう！

第32回 いいたて村文化祭



福島市阿波踊りきずな連



東京おもちゃ美術館
「木育キャラバン」



栃木県鹿沼市
ベリーちゃん

栃木県茂木町
ゆずも



宮仲神楽保存会



村幼稚園児による太鼓演奏



いいたて・愛



宮内有志の会宝財踊り



約1,000点の作品が並んだ
総合文化展

避難先で4回目 村文化祭

10月31日・11月1日の2日間、パルセいいざか（福島市飯坂町）において、第32回いいたて村文化祭が開催されました。両日ともに、各自治会や子どもたちなどの文化作品の展示や、村民俗芸能団体など各団体によるステージ発表が行われ、来場した村民らを楽しませました。

開催にあたりあいさつした菅野村長は「村民の力と村外からの応援があつて開催できることに感謝している。力を合わせて村文化祭を盛り上げてほしい」と感謝を表し、出演者らを激励しました。

村への温かな応援を受けて

開会式には、震災後、応援職員の派遣等で村を支援してくださっている栃木県鹿沼市の古口達也町長が、同町のゆるきやら「ゆずも」と同県鹿沼市のゆるきやら「ベリーちゃん」と一緒に登場しました。古口町長から「村民の力を感じることができ文化祭。少しでも力添えができれば」と温かなあいさつがありました。

親子で出品 村長賞受賞

総合文化展には約1000点の作品を展示。その中で村長賞に選ばれたのは、親子で出品された古川トミ子さん・正夫さん親子（飯樋町）の作品でした。

もうすぐ賀寿を迎える母親のトミ子さんは、手縫いでパッチワークのベットのカバーを、ひと針ひと針心を込めて縫い上げました。息子の正夫さんは、木の置物を作り上げ、見事2人そろっての受賞となりました。



トミ子さんの
パッチワーク



村長賞受賞の
古川さん親子



村小学生による合唱

小中学生 学習の成果見せる

村の小中学校に通う子どもたちが、土曜授業として文化祭に出席しました。小学生は、参加全児童による合唱を手話を交えながら披露。中学生は、1年生による田植え踊りと吹奏楽部による演奏発表を行いました。

また、夏に行われた沖縄研修、ドイツ研修の報告がそれぞれあり、工夫を重ねユーモアも交えて発表する子どもたちに、会場から大きな拍手が送られました。